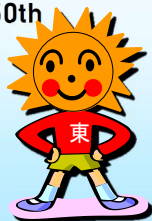


50th



川越市立霞ヶ関東小学校だより

たいよう

第9号 令和7年1月8日(水)

学校教育目標

- 【た】 たくましい子
- 【い】 生き生きと活動する子
- 【よ】 よく考える子
- 【う】 美しい心の子

勇気と元気

校長 関根 努

新しい年を迎えました。今年の元旦は、穏やかな冬空の中、入間川の土手と霞ヶ関東小学校の校舎からのぼる初日の出と初雁橋から富士山を見ることができました。初日の出を眺めながら、今年一年が霞ヶ関東小学校の子供たちや教職員、保護者、地域の皆様にとって、安穩で実り多き年となるよう心の中で祈りました。

今年の干支「乙巳（きのとみ）」を調べてみました。「乙」は困難があっても紆余曲折しながら進むことや、しなやかに伸びる草木を表しており、「巳」は蛇のイメージから「再生と変化」、脱皮し強く成長する蛇は、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物、または神の使いとして信仰されてきました。そして、この2つの組み合わせである乙巳には、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起のよさを表していると記されていました。このように今年は、これまでの努力や準備が実を結ぶ年となりそうですが、一方で辛抱強さも試される年になりそうです。すぐに結果が出なくても、焦らず粘り強く取り組んでいくことが大切です。自分のペースを保ちながら一歩ずつ確実に歩みを進め、望む結果に近づくように頑張りましょう。



さて、新春を迎えるにあたり、「今年はこれを頑張ってみよう」と、新たな目標を立てられた方も多いのではないのでしょうか。何事も新しく始める時には、勇気が必要です。新しい世界に踏み出す勇気です。成功するのだろうかという不安と戦う勇気です。その勇気は、一体どこから生まれてくるのでしょうか。初めから持っているのでしょうか。それとも特別なトレーニングを積んで身に付けるのでしょうか。

こんな話を聞いたことがあります。人間は、必ず「勇気」と「元気」をもって生まれてくるということです。つまり、子供たちには、苦手なことも進んで学ぶ、責任をもって最後まであきらめず努力をすることのできる「勇気」と「元気」があるはずだと。

さらに、世の中のものは使えば使うほど減っていきませんが、この「勇気」と「元気」だけは、不思議なことに使えば使うほど増えていくし、使わなければ減っていく性質があるのです。子供たちにはぜひ、その一歩を踏み出してほしいと思います。小さいけれど確実な一歩を一人一人が勇気をもって踏み出せるよう、教職員一同、誠心誠意努力してまいります。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

